

Aレク

Art & Architect Festa AAFレクチュア共同企画 連続トークイベント(建築家編)

UNION Cassina
IXC. 設営協力

NPO/AAF A LECTURE / TALK SESSION

AAF の設立 1 周年の記念レクチャーとして 2011 年に開催をはじめました D レクはこれまで、【現代美術家・アーティスト編】、【ファッション・テキスタイルデザイナー編】、【グラフィック・アートディレクター編】、【インテリア・プロダクトデザイナー編】、そして【建築家編】と、5 つのカテゴリーで活躍されるクリエイターの方たちに参加をいただきました。そして昨年 2017 年 5 月。同居いたしておりました ナガオカケンメイさん率いる D&DEPARTMENT の移転に伴い、2 年間の休止をしておりましたが、LONG LIFE DESIGN を提唱されたナガオカさんの意思を継ぎ、「A レク」と名称を変更し継続することにし、2019 年は【構造家編】、2020-21 年はファッションデザイナー編・アーティスト編、ディレクター編を、2022-24 年は'25 日本国際博覧会プロデューサー編を開催しました。

2000 年にナガオカさんから依頼され、20 代の頃、この建築のリノベーションの設計を担当した、当法人の代表を務める平沼孝啓が、「地域の日常にある建築に、継続のあり方を探ったプロジェクト」と称した場を利用し、現在、私たち AAF のスタッフたちが、日常に活動する場での開催となりますが、このような建築の文化に深いご理解とご興味を持たれる皆さまの、オフ会として、または勉強会の場として、建築やデザインに触れる「小さくて身近」な、「交流や集会の場」となることを目指しています。この建築が所在する大阪・南堀江は、道頓堀川の畔という立地から、島根や山口、高知や香川から木材が運ばれ、製材をされる倉庫や工場が多く存在しました。その関係から約 60 年前に家具工場として造られたこの建築は、約 30 年前に刷毛ブラシの制作所として受け継がれ、約 15 年前にロングライフデザインストアとして息を吹替えました。この系譜を受け、「どこにでもある日常の建築を」に価値を与えられた意図から、建築の文化活動を担う私たち AAF が、このバトンを落とすことなく、受け継いでいきます。

万博開催後となる 2026 年新春は、建築の博覧会と称された万博の立役者である建築家の皆さまにご登壇いただきます。乞うご期待ください。



各回共通

× 対談

= モデレータ

18:30 開場 19:00 開演 20:30 終了

平沼孝啓建築研究所 〒550-0015 大阪市西区南堀江 2-9-14 4F

最寄駅：地下鉄
千日前線・桜川駅 5 番出口 徒歩 5 分 地下鉄四つ橋線・四つ橋駅 5 番出口 徒歩 10 分
鶴見緑地線・西大橋駅 3 番出口 徒歩 8 分 御堂筋線・心斎橋駅 7 番出口 徒歩 15 分



藤本壮介 (建築家)



平沼孝啓 (建築家)

入場 1,000円 | 定員 60名 (当日会場にて先着順座席選択) | 申込 要 ウェブサイトからお申込みください <http://d.aaf.ac>

※1 当日の受付は 18 時 30 分から先着順にて開始いたします。建物入口、向かって左側の階段より 4 階まで直接お越しください。また、席に限りがあり、立見になる場合がございます。
※2 当日のご参加も若干名様まで可能としております。18 時 30 分より先着順にて整理券を発行します。
※3 開始時間に遅れられた場合、満員に達した場合、来場をお断りする場合がございます。あらかじめご了承ください。

『A レク』で検索